



所沢市立北小学校 学校だより

令和5年1月31日

# はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」  
「これでよいのか」  
「さあやるぞ」

## 寒 北 斗

校長 関根 祐一

先週は、10年に一度とも言われる強烈な寒波に覆われ、厳しい寒さと、乾いた北風が続きましたが、暦の上では今週末に立春を迎えます。強い寒気の中に割り入るように東側駐輪場脇の梅と正門花壇の水仙が花を咲かせ始めました。小さいけれども力強い息吹を感じます。春を呼んでくれているようです。子供たちも、登校後、寒さに負けず、朝の校庭遊びを元気よく楽しんでいきます。

学校では、2月3日（金）に令和5年度の新入学児童保護者説明会を開催します。今年度のまとめに取り組むと同時に、来たる春に向け準備を進めているところです。



さて、我が家の付近は比較的空を広く見ることができ、晴れた冬の夜はよく空を見上げます。冬は空気が冴え、明るさの強い星たちは街灯りに隠されることなく空に輝き、星座がわかりやすく姿を浮かべてくれるからです。

北の方角を向くと、大きな北斗七星。北極星を挟んで反対側にカシオペア座が浮かび、南方の高い位置には、オリオン座と冬の大三角が空を覆うように広がります。おおいぬ座やこいぬ座、近くにあるはずの双子座も見えるような、見えないような…。

特段に天体に関心が高い訳でも、詳しい

訳でもありません。高校生の頃でしたか、ある晩、ふと見上げると真正面に“どん”とオリオン座が広がっていて、何故か甚く感動して以来、冬の夜空や月空を見上げるようになったのでした。月の上弦、下弦も、よく夜空を見るようになって合点がいました。

北方を向いて北斗七星の雄大さ、向きを変えベテルギウスのオレンジの光やシリウスの青白い光の綺麗さ、ぐるりと見渡して夜空の広さと深さを感じるだけです。が、キリッとした寒気の中に立ち止まって見上げるほんの一時に、せわしく過ごした一日のせかせかした気分がスッと溶けていくように感じるのです。とても良い気分転換になっています。

気ぜわしくなる年度末、また、何かにつけタイパ（タイムパフォーマンス）が取り沙汰される時勢にあって、心を落ち着かせてくれる日々の気分転換の一時も大切と思うのです。

外へ出て星を見てみようというときには、もちろんですが子供だけでなくご家族の大人と一緒に、安全な場所で、しっかり防寒をされて空を見上げてみてください。

2月もご支援・ご協力をお願い致します。

校内作品展をご覧いただきましてありがとうございました。子供たちの作品の温かみで校内が満たされています。

